



# **SD エンターテイメント株式会社**

(東京証券取引所JASDAQ 証券コード 4650)

## **2021年 3 月期 第 1 四半期決算説明資料**

**2020年 8 月11日 (火)**

**SDエンターテイメント株式会社 代表取締役社長 平川 真淳**

# 2021年3月期 第1四半期トピックス



## 2020年6月新コンセプトブランド「Self.Design.Fitness」始動

北九州市小倉駅前徒歩3分 アイム10FのSDフィットネスが名称変更して「2020年6月11日」にリニューアルオープン

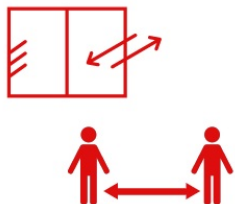
阪急伊丹駅から最も近い駅直結の24時間営業フィットネスクラブが「2020年6月17日」にグランドオープン

## SDフィットネス館内安心宣言

SDフィットネスでは、皆様が安心してご利用いただけるように、全館で業界の定める新型コロナウイルス感染症拡大防止策を徹底しています。

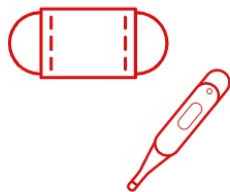
## SDフィットネス館内安心宣言

### クラブ運営の基本的感染対策



- ・自動換気や、施設のドア・窓・入口の開放による換気の徹底。
- ・スタジオレッスンの参加定員を制限。他のお客様との間隔を確保。
- ・スタジオレッスンの実施は30分～1時間間隔をあげ、除菌清掃の実施。
- ・来館されるすべての方に検温・健康チェックを実施。

### スタッフの感染防止対策



- ・スタッフ出勤時の検温・健康チェックの徹底
- ・館内では必ずフェイスガードもしくはマスクを着用。
- ・スタッフの同居家族や身近な人が感染症を発症した場合、出勤を停止。

### 施設の体制整備



- ・手指消毒剤を増設。
- ・トイレのジェットタオルを停止。
- ・2時間に1回以上の定期清掃を実施。消毒の徹底。
- ・マシンの一部利用停止や、間隔えおあけることでソーシャルディスタンスを確保。
- ・除菌加湿器・飛沫感染対策ツールを設置。
- ・各マシンに設置されているタオルを撤去。使い捨て除菌シート、消毒剤の使用。

2021年3月期 第1四半期業績

## 〔連結損益計算書〕

- ・ 主要事業において緊急事態宣言中の休業や時間短縮営業の影響により売上高が大幅に減少
- ・ 販売管理費削減が効果上げるも、リカバリー出来ず前年に比べ減収減益

(単位：千円)

	2020年3月期 1Q実績	2021年3月期 1Q実績	増減額
売上高	1,170,406	802,040	▲368,366
売上総利益	1,052,983	722,009	▲330,947
販売管理費	1,023,189	819,734	▲203,454
営業利益	29,794	▲97,725	▲127,520
経常利益	12,369	▲113,075	▲125,445
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲10,946	▲203,096	▲192,149

## 〔セグメント損益〕

ウェルネス事業 – 健康増進・社会生活の維持・発展を推進する事業 –

- ・フィットネスは、休業要請で売上減少
- ・保育・介護等は、緊急事態宣言中も生活インフラとして営業を継続

売上高556,380千円（前年同期比 70.8%） 営業利益▲31,727千円（前年 49,990千円）

クリエイション事業 – 余暇とココロを充実させる事業 –

- ・オンラインクレーンゲームは、国外からの景品入荷が一時ストップし売上停滞
- ・インターネットカフェは、店舗減と休業要請で売上減少

売上高92,507千円（前年同期比 68.7%） 営業利益▲21,180千円（前年 ▲9,207千円）

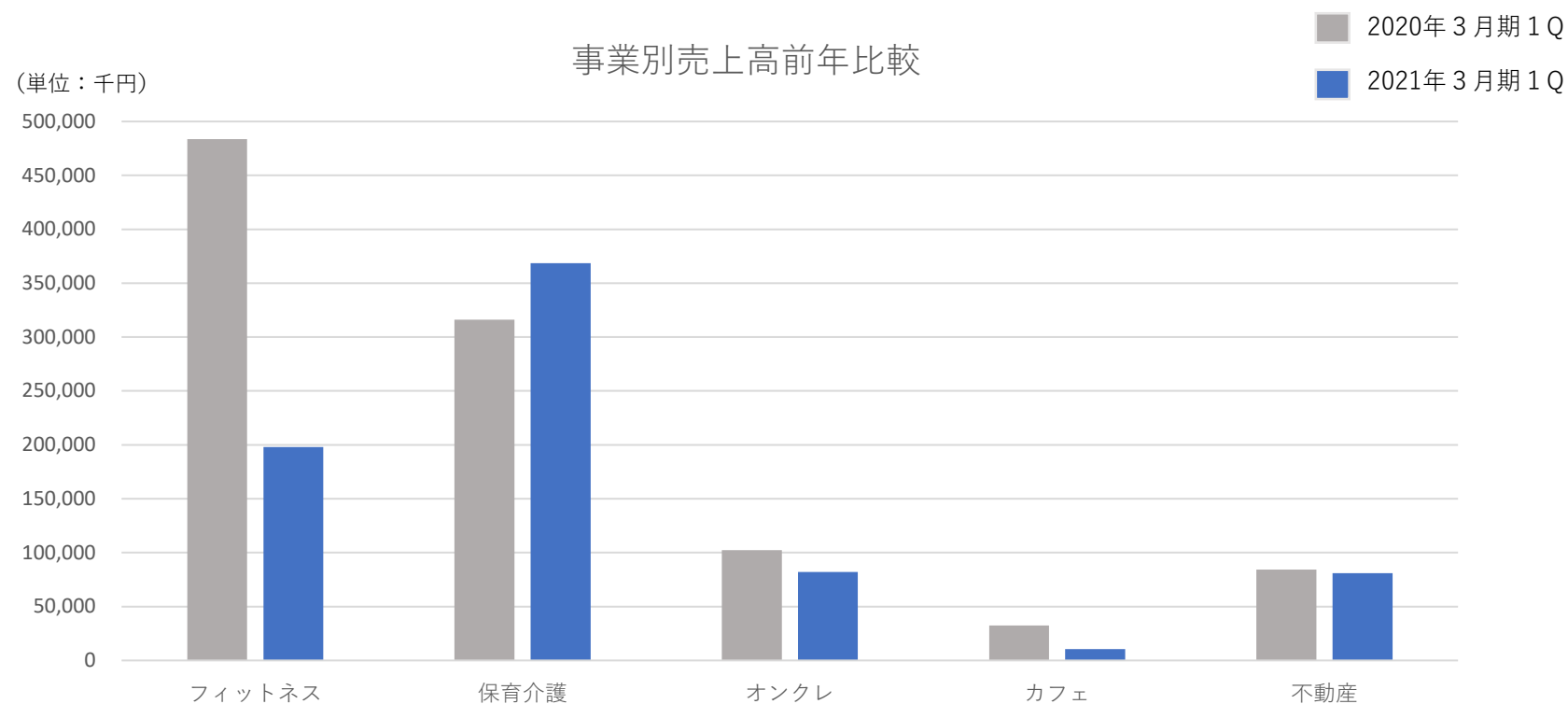
不動産賃貸事業 – 自社物件の有効活用を目的とした事業 –

- ・管理費のコストコントロールにより利益を維持

売上高80,876千円（前年同期比 95.9%） 営業利益47,905千円（前年同期比 106.7%）

## 〔セグメント損益〕

- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により主要事業の売上が大幅に減少
- ・ 生活インフラ関連事業は売上が堅調に推移





## 〔連結貸借対照表〕

自己資本比率は前期末に比べ2.0%減少、前年同四半期 1.0%増加

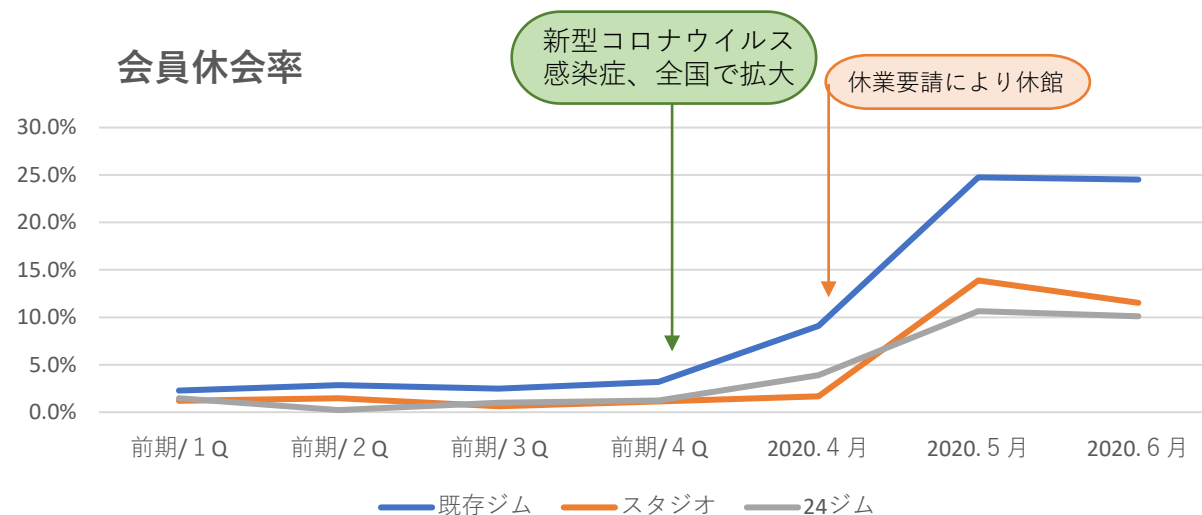
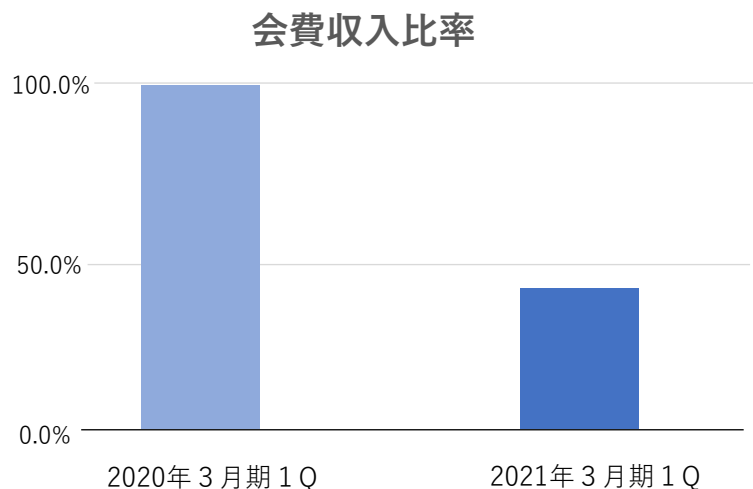
(単位：百万円)

資産の部 (主要項目抜粋)	2020年3月末	2020年6月末	前期比較	負債の部 (主要項目抜粋)	2020年3月末	2020年6月末	前期比較
流動資産	1,573	1,256	▲317	流動負債	2,889	2,961	72
(現金及び預金)	898	599	▲299	(短期借入・一年内返済長期借入・社債)	2,012	2,106	93
(売掛金)	211	211	—	(その他流動負債)	876	855	▲21
(その他流動資産)	464	446	▲17	固定負債	1,982	1,888	▲93
固定資産	5,364	5,461	97	(社債・長期借入金)	1,690	1,553	▲136
(有形固定資産)	4,277	4,389	111	(その他固定負債)	292	335	43
(無形固定資産)	135	126	▲9	負債合計	4,871	4,850	▲21
(投資その他の資産)	951	946	▲5	株主資本	2,084	1,881	▲203
繰延資産	29	27	▲2	純資産合計	2,096	1,895	▲201
資産合計	6,968	6,745	▲222	負債・純資産合計	6,968	6,745	▲222
				自己資本比率	30.1%	28.1%	—

**2021年3月期 第1四半期  
事業別概況**

〔ウェルネス事業 - フィットネス - 〕

各都道府県の休業要請により、全店4月・5月は休業や時間短縮での営業となり  
その影響により休退会者が増加、会費収入が大幅に減少 (前年より▲59.3%)



※総合型ジム(既存ジム)は影響大、24ジムは影響少。下記、宣言で早期回復を目指す。

※休業要請解除後は、以下を宣言し再開しております。

SDフィットネスの館内安心宣言

SDフィットネスは、皆様が安心してご利用いただけるようにクリーンな環境づくりを行ってまいります。



〔 ウェルネス事業 – フィットネス – 〕

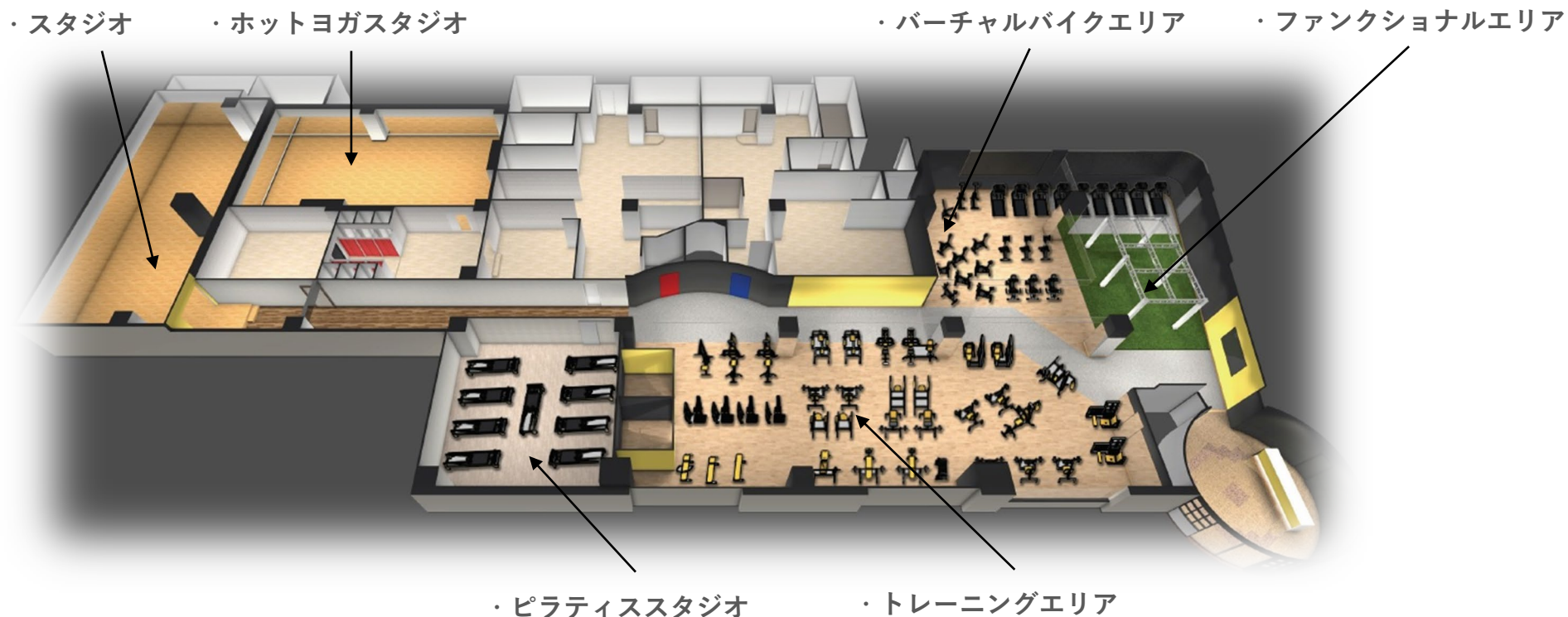
SDF小倉駅前店 (旧SDフィットネス小倉駅前店)

2020年6月11日リニューアルオープン

S.D.F

Self Design Fitness

特徴：6つのエクササイズゾーン、専門プログラムも充実

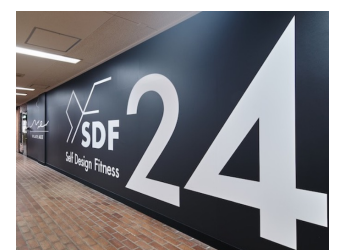
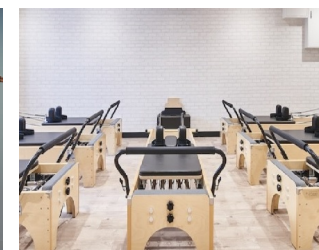
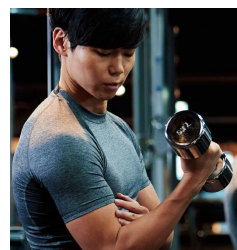
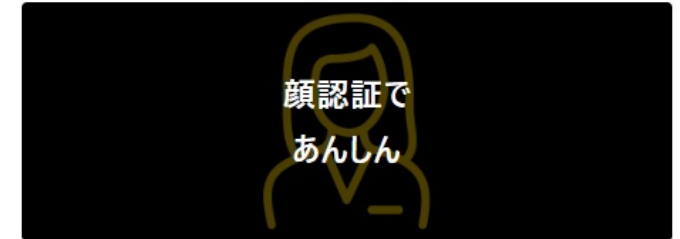
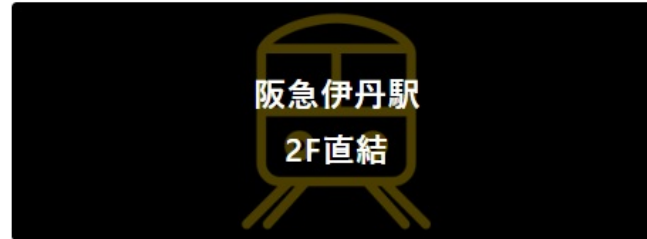
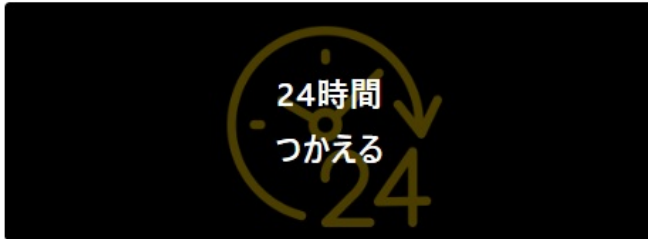


〔 ウェルネス事業 - フィットネス - 〕

SDF 24 阪急伊丹駅前店 2020年6月17日オープン



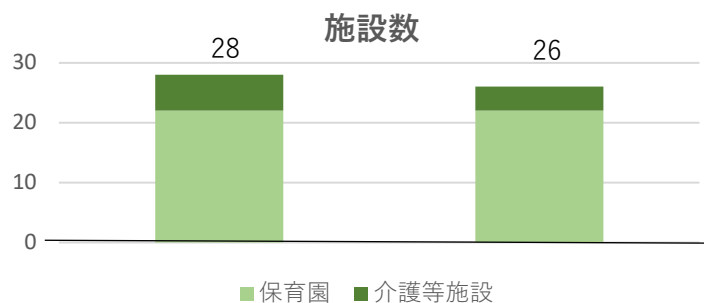
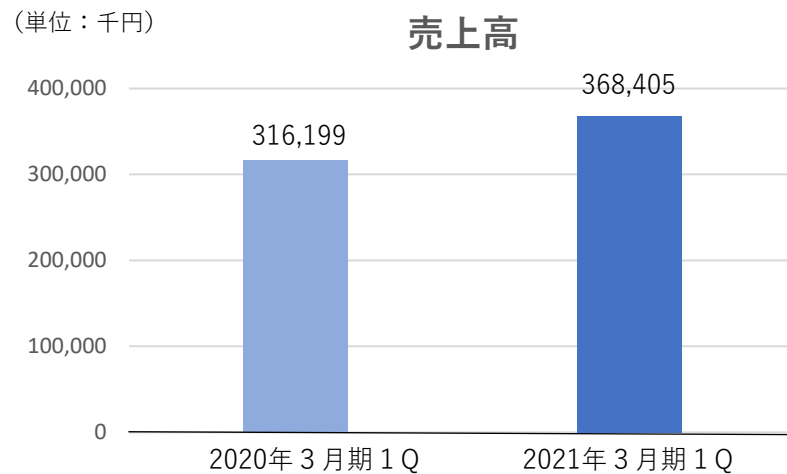
FEATURE - SDF24の特徴 -



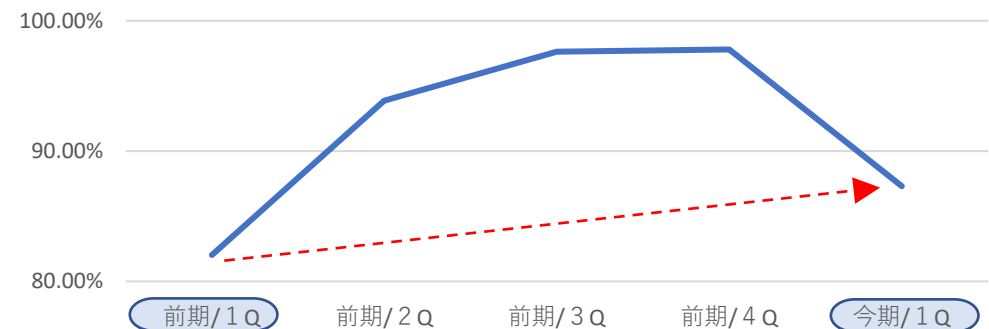
## 〔 ウェルネス事業 - 保育・介護等 - 〕

「緊急事態宣言時に事業の継続が求められる事業」として感染防止対策に取り組みつつ休業することなく営業を継続。

介護等施設は2施設閉鎖、保育は昨年開園の保育園が期首から寄与し売上高増加



### ※充足率アップで今期、好スタート 園児充足率



### ※今期より増床、定員拡大

- ・ディノスキッズ白石園 (札幌市白石区)
- ・カメラキッズ経堂園 (東京都世田谷区)



〔 クリエーション事業 - オンラインクレーンゲーム - 〕

新型コロナウイルスの影響により海外からの景品入荷が一時ストップし売上停滞  
 売上高は前年並みに (同前期比 80.2%)

月次売上推移

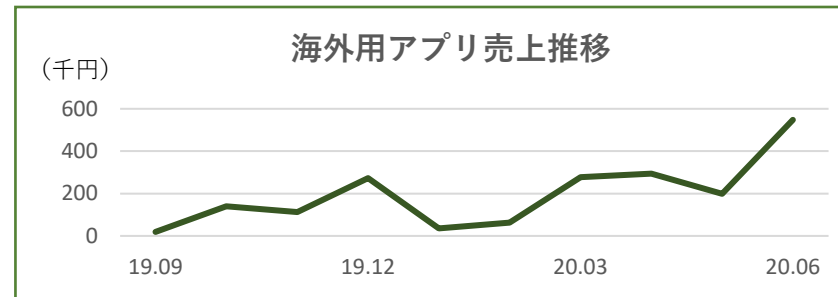


海外用アプリテスト開始

2019年9月 Androidアプリテスト運用

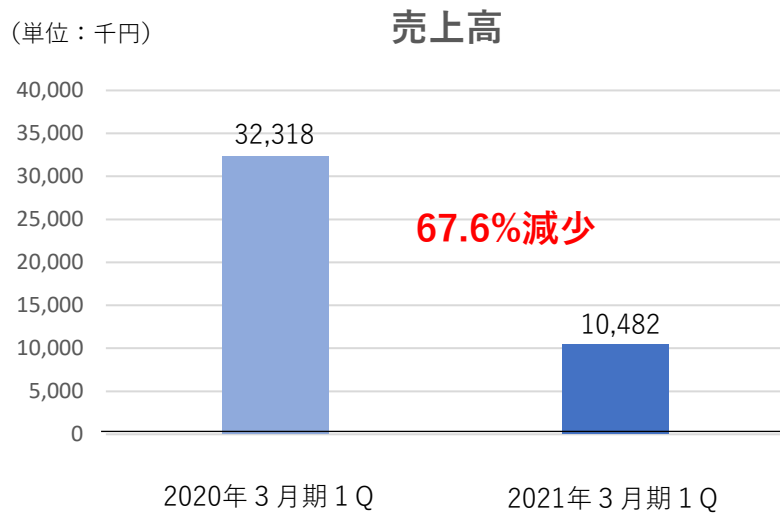
2020年3月 iOSアプリテスト運用

海外用アプリ売上推移



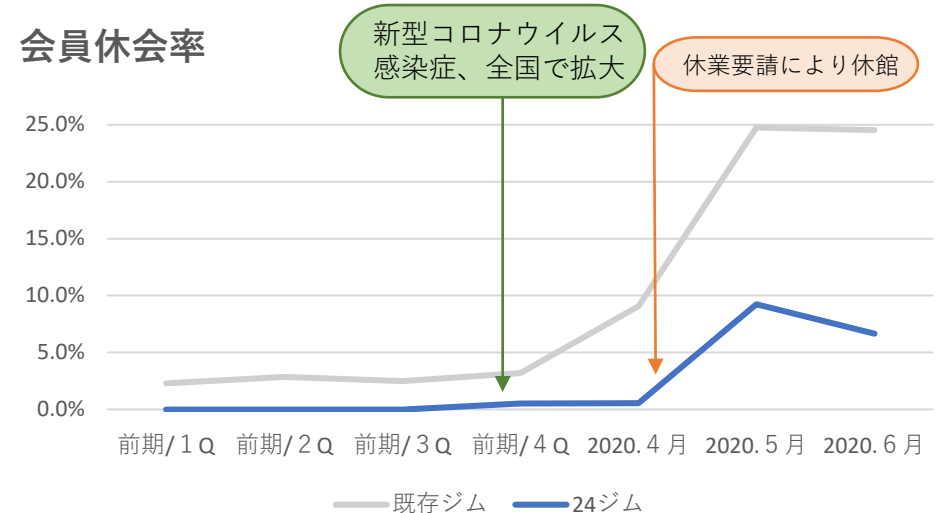
〔 クリエーション事業 - インターネットカフェ - 〕

休業要請により4月・5月は休業、解除後もソーシャルディスタンスを保つため入場制限営業や昨年5月豊橋藤沢店（愛知県豊橋市）閉店の要因もあり売上高が大幅に減少



カフェ天六24時間ジム

会員休会率



※休業要請解除後、徐々に休会者が戻っている



2021年3月期 事業ビジョン

## 中長期的な経営戦略

### フィットネス事業

必要なアイテムを選びお客様自身でデザインできるブティック型ジムや、スタジオやホットヨガ併設の24時間営業小型ジム、インターネットカフェ併設の24時間営業小型ジムなど、多様化するライフスタイルに対応しつつ、プラスアルファの付加価値創造に向けて取り組んでまいります。

### 保育事業

潜在的な待機児童問題の解消に貢献できるよう、当社が本社を置く北海道と子会社の拠点である首都圏を中心に、更に新規保育園の開園を進めていく考えでおります。

### オンラインクレーンゲーム事業

アフターコロナに向けて、非対面型サービスである当事業を積極展開し、海外シェア拡大に向けてプロモーション強化を進めてまいります。



## 対処すべき課題

### I. 経営管理の高度化

機動性向上のため、適切な人員配置、事業展開に応じた組織体制の整備により、意思決定のスピード化を図ってまいりました。

今後は、急速に変化する市場環境に柔軟に対応できるよう情報集約の一元化や、企画実行のプロジェクト化により、経営資源のより有効的な活用を推進してまいります。

### II. 人材成長

新型コロナ禍により雇用に対する不安が広がっておりますが、引き続き当社は全社員が「生活力」と「働きがい」を感じることができる企業風土・環境の整備に取り組みます。全社員が必要とされる人材となり、自信を持って働けるよう、社員の「能力向上」「プロフェッショナル化の推進」を進めてまいります。また、研修制度の拡充、明確な行動指針とこれらに連動した人事評価制度で社員の成長を促し、生産性の高い組織構築に取り組んでまいります。

### III. 新サービスの構築

新しい生活様式がスタンダードとなるアフターコロナに向けて、既存事業においてはサービス内容の見直しとともに、顧客とのタッチポイントの多様化を推進してまいります。また新規事業開発にも積極的に取り組み、世の中に求められる新しい商品・サービスを構築してまいります。

## 免責事項

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性・完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。